

練習のグラウンド フェンスの向こう の道 世界で噂 の・・・

アメフトが日本でも昨今盛んになっているのは、アメフトでとんでもないスターが現れたからだ。

全スポーツを総合しても歴史上で最高の選手と呼ばれ、

世界中のスポンサーにひっぱりだこ。

独自の服やシューズなども無数に発売されている。

今やまさに地球を歩くブランドである。

ジャンプ力は1メートル30センチであるが、

バスケットボール選手ならリングを頭が一個分突き
抜ける高さ。

身体能力がずば抜けているのは当たり前だ。

彼は、練習の広いグラウンドが
狭い部屋くらいの大きさにしか思えないと言っている。
る。

独自のスタイルを貫いている。
彼にとっては試合などお手玉をしているくらい簡単なことなのかもしれない。

錆（さび）の入った水色のフェンスの向こう。

スーパーの前の自販機にある炭酸飲料が飲みたくなる。真夏のアメフトの練習中。

舗装された広いグラウンドの中、

俺はアメフト部に入ったことを・・・・・・・・

.....こうか.....

最後に.....い.....まで出るところの小数点一ミリの半分の半分.....というところで踏みとどまる.....

そんな練習のキツさだ。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。